

第3回 益城町子ども議会

未来を担う子ども議員 一般質問・施策提案

8月26日、町内小中学生16人と、西村町長ほか各課課長など19人が出席して第3回子ども議会が開催されました。これは町の未来を担う子どもたちに、町政に対する質問や提案などをおして、地方自治の仕組みを体験的に学習してもらうことを目的に町教育委員会が2年に一度実施。それぞれの自由な発想と視点に基づいて町長や教育長に質問・施策提案を行いました。今号では、子ども議員から出された質問・施策提案と町からの答弁の一部を紹介します。

問 子ども医療費助成について



広安小6年
かじわら もえ
梶原 萌 議員

私は病院で受診が終わり受付で一人で待っていました。私がお金を持っていなかったの、ドキドキして待っていました。名前が呼ばれて受付に行きましたが、お金を払う必要はなくて良かったです。そのときお母さんから、益城町には子ども医療費助成制度があることを聞き、とても良い制度だと思いました。益城町の医療費助成制度は助成期間が長いと聞きましたが、他の市町村と比べてどれくらい長いのですか。

答 助成期間が長いのは、町民の願いが強いから

益城町では、中学校3年生

までの子どもたちは、病院の医療費を払う必要はありません。病院で子ども医療費受給者証と健康保険証を出さず助成を受けることができます。また、入院のときは病院に払った領収書を役場子ども課に出すだけで助成を受けることができます。

助成の期間は、隣の熊本では小学校3年生までで、益城町のほうが6年間長く、近くの御船町や嘉島町では益城町と同じく中学校3年生までです。助成期間が長いのは、できるだけたくさんの子どものために、立派な大人になってもらいたいという、町民の願いが強いからです。でも、いちばん良いのは病気をしないことです。

- 1 町議会さながらの子ども議会の内容に聞き入る傍聴者
- 2 質問を行うときは、元気よく手を挙げて発言しました
- 3 質問に対する答弁を、真剣なまなざしで聞き入る子ども議員
- 4 熱気に包まれた議場の様子
- 5 子ども議員の質問に、一つ一つわかりやすく答弁します

